

Dell Precision 3240 Compact

セットアップと仕様



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: Precision 3240 Compact の設定	5
章 2: Precision 3240 Compact の図	7
前面.....	7
背面.....	8
側面.....	9
章 3: Precision 3240 Compact の仕様	10
寸法と重量.....	10
プロセッサ.....	10
チップセット.....	11
オペレーティング システム.....	11
メモリー.....	11
ポートとコネクタ.....	12
Ethernet.....	13
ワイヤレス モジュール.....	13
オーディオ.....	14
ストレージ.....	14
電源アダプター.....	14
GPU : 内蔵.....	15
GPU : 専用.....	15
アドイン カード.....	16
規制.....	16
データ セキュリティ.....	16
動作環境とストレージ環境.....	17
章 4: セットアップユーティリティ	18
BIOS の概要.....	18
BIOS セットアッププログラムの起動.....	18
ブートメニュー.....	18
ナビゲーションキー.....	18
ブート シーケンス.....	19
セットアップユーティリティのオプション.....	19
一般オプション.....	19
システム情報.....	20
ビデオ画面のオプション.....	21
セキュリティ.....	21
セキュアブート オプション.....	22
Intel Software Guard Extensions のオプション.....	23
パフォーマンス.....	23
電源管理.....	24
POST 動作.....	25
管理機能.....	26
仮想化サポート.....	26

ワイヤレスオプション.....	27
メンテナンス.....	27
システムログ.....	27
高度な設定.....	28
SupportAssist システムの解決策.....	28
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	28
システム セットアップパスワードの割り当て.....	29
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	29
BIOS (システム セットアップ) およびシステムパスワードのクリア.....	30
章 5: ソフトウェア.....	31
Windows ドライバのダウンロード.....	31
章 6: 「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」	32

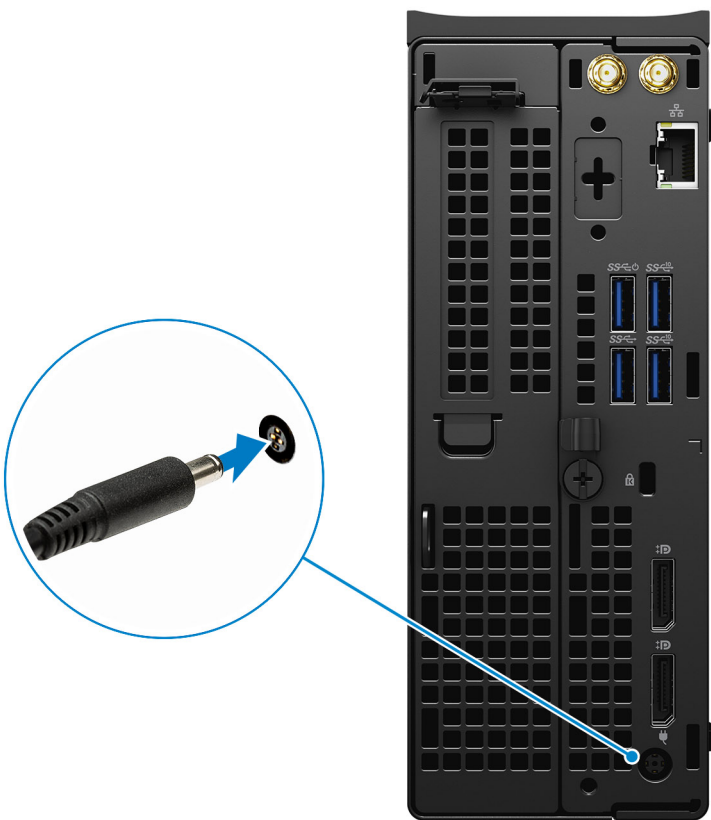
Precision 3240 Compact の設定

このタスクについて

メモ: 本書の画像は、ご注文の構成によってお使いの PC と異なる場合があります。

手順

1. 電源アダプターを接続して、電源ボタンを押します。



メモ: バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。電源アダプターを接続し、電源ボタンを押して PC をオンにします。

2. オペレーティングシステムのセットアップを完了します。

Ubuntu の場合 :

画面の指示に従ってセットアップを完了します。Ubuntu のインストールと設定の詳細については、www.dell.com/support で、ナレッジ ベース記事 [SLN151664](#) および [SLN151748](#) を参照してください。

Windows の場合 :

画面の指示に従ってセットアップを完了します。Dell では、セットアップの際、以下のことをお勧めしています。

- ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。

メモ: セキュアなワイヤレス ネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレス ネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。

- インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- Support and Protection **サポートおよび保護**の画面で、連絡先の詳細を入力します。

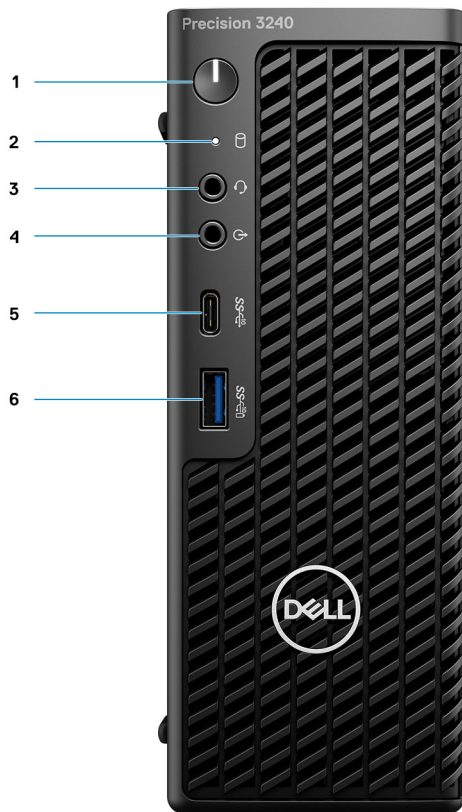
3. Windows スタートメニューから Dell のアプリを見つけて使用します (推奨)。

表 1. Dell のアプリを見つける

リソースを見つける	説明
	<p>Dell Product Registration</p> <p>Dell に、お使いの PC を登録します。</p>
	<p>Dell Help & Support</p> <p>PC のヘルプとサポートにアクセスします。</p>
	<p>SupportAssist</p> <p>SupportAssist は、設定の最適化、問題の検出、ウイルスの除去、システム アップデートが必要な場合の通知を行うことによって、PC を最適な状態で実行するのに役立つスマートテクノロジーです。SupportAssist はシステムのハードウェアとソフトウェアの正常性をプロアクティブに確認します。問題が検出されると、トラブルシューティングを開始するために必要なシステム状態の情報が Dell に送信されます。SupportAssist は、Windows オペレーティングシステムを実行しているほとんどの Dell デバイスに事前にインストールされています。詳細については、www.dell.com/serviceabilitytools で『SupportAssist for Home PCs ユーザーズ ガイド』を参照してください。</p> <p> メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。</p>
	<p>Dell Update</p> <p>重要な修正プログラムおよび最新のデバイスドライバが提供された場合に、お使いの PC を更新します。Dell Update の使用の詳細については、www.dell.com/support のナレッジ ベース記事 000149088 を参照してください。</p>
	<p>Dell Digital Delivery</p> <p>購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアアプリケーションを、お使いの PC にダウンロードします。Dell Digital Delivery の使用の詳細については、www.dell.com/support のナレッジ ベース記事 000129837 を参照してください。</p>

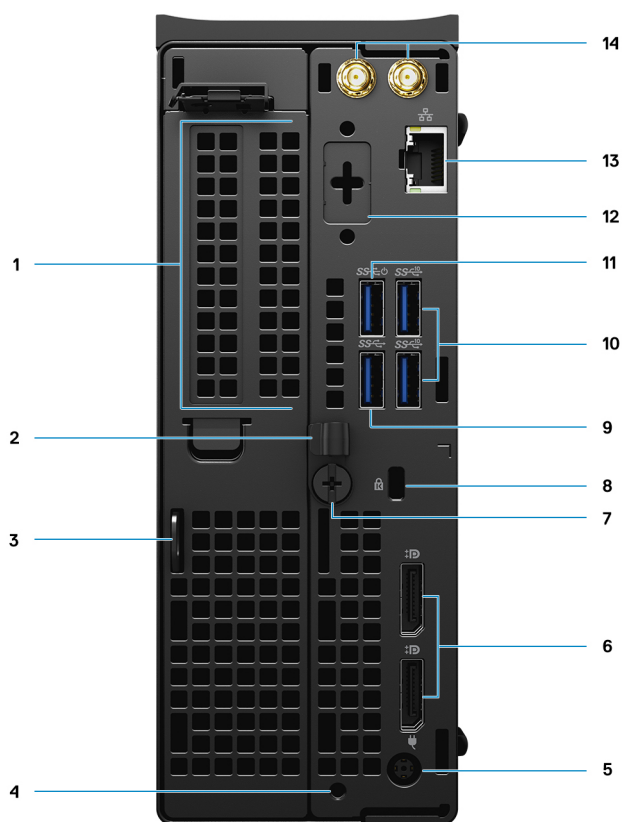
Precision 3240 Compact の図

前面



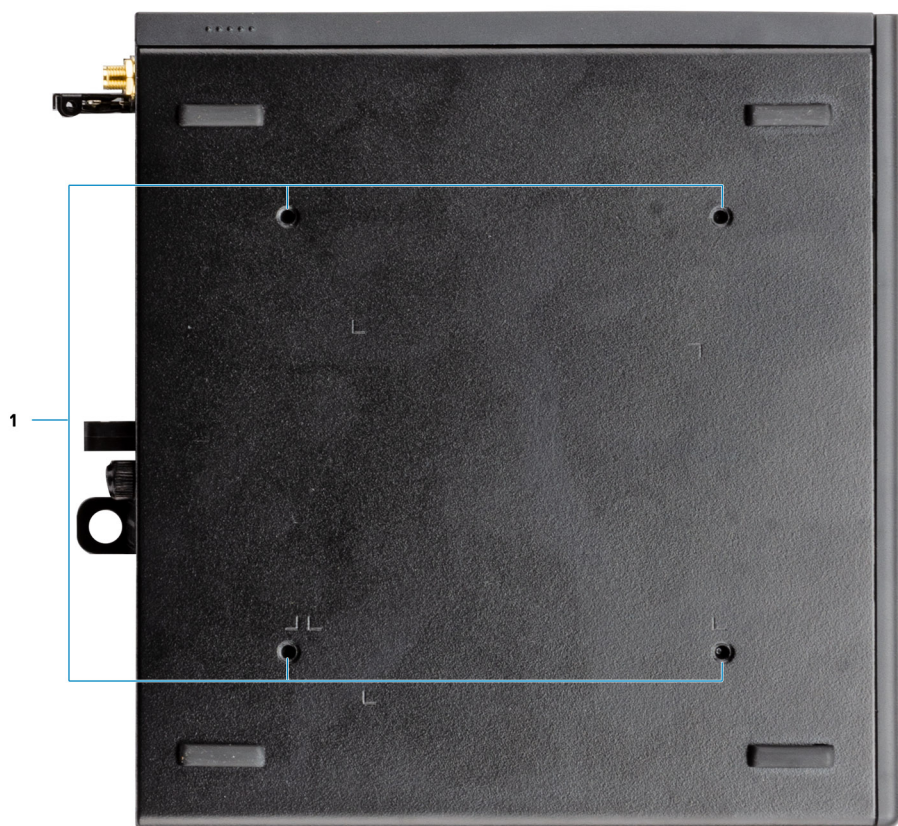
1. 電源ボタン (診断インジケータ)
2. ストレージ動作の LED
3. ヘッドセットポート
4. ライン出力/ライン入力オーディオポート
5. USB 3.2 Type-C Gen 2 (10 Gbps)
6. USB 3.2 Type-A Gen 2 (10 Gbps)、PowerShare 対応

背面



1. 拡張カード スロット
2. ケーブル管理ブラケット
3. パドロック リング
4. 取り付けネジ穴
5. 電源アダプターポート
6. 2 x DisplayPort 1.4
7. 蝶ネジ
8. ケンジントン ケーブル ロック スロット
9. USB 3.2 Type-A Gen 1 (5 Gbps)
10. 2 x USB 3.2 Type-A Gen 2 (10 Gbps)
11. USB 3.2 Type-A Gen 1 (5 Gbps)、SmartPower 対応
12. オプションのポート (VGA、HDMI 2.0、DisplayPort++ 1.4、DP 1.4Alt モード対応の USB Type-C)
13. LAN ポート (RJ45) ネットワーク コネクター
14. 統合された外部 SMA アンテナ コネクター (オプション)

側面



1. VESA 取り付けオプション用の M4x10 ネジポスト x 4 です。

メモ: Dell Precision 3240 Compact のシステムでは、100 mmx100 mm 間隔でネジ穴があります。

Precision 3240 Compact の仕様

寸法と重量

表 2. 寸法と重量

説明	値
高さ	188.10 mm (7.40 インチ)
幅	70.20 mm (2.76 インチ)
奥行き	178.65 mm (7.03 インチ)
重量 (概算)	1.71 kg (3.77 ポンド)
メモ: システムユニットの重量は、発注時の構成や製造条件により異なる場合があります。	

プロセッサー

メモ: グローバルスタンダード製品 (GSP) は、世界的規模での可用性および同期化された移行のために管理された Dell の関連製品のサブセットです。全世界での購入で同じプラットフォームが使用できるように保証されます。これにより、お客様は世界的に管理される構成の数を減少させることができ、コストを削減することができます。また、会社では、世界的に特定の製品構成に固定することにより、世界的な IT スタンダードを実装することもできます。

Device Guard (DG) および Credential Guard (CG) は、現在 Windows Enterprise でのみ使用可能な新しいセキュリティ機能です。Device Guard は、エンタープライズ関連のハードウェアおよびソフトウェアのセキュリティ機能を組み合わせたものです。一緒に構成すると、信頼できるアプリケーションのみを実行できるようにデバイスがロックされます。資格情報ガードは、仮想化ベースのセキュリティを使用して機密事項 (認証情報) を分離し、権限のあるシステムソフトウェアだけがアクセスできるようにします。これらの機密事項に不正にアクセスされると、資格情報の盗難攻撃につながる可能性があります。認証情報ガードは、NT LAN Manager (NTLM) パスワードハッシュとケルベロス チケット認証チケットを保護することにより、こうした攻撃を回避します。

メモ: プロセッサー番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサーの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 3. プロセッサー

プロセッサー	ワット数	コア数	スレッド数	スピード	キャッシュ	内蔵グラフィックス
第 10 世代インテル Core i3-10100	65 W	4	8	3.6 GHz ~ 4.3 GHz	6 MB	インテル UHD グラフィックス 630
第 10 世代インテル Core i5-10500	65 W	6	12	3.1 GHz ~ 4.5 GHz	12 MB	インテル UHD グラフィックス 630
第 10 世代インテル Core i5-10600	65 W	6	12	3.3 GHz ~ 4.8 GHz	12 MB	インテル UHD グラフィックス 630
第 10 世代インテル Core i7-10700	65 W	8	16	2.9 GHz ~ 4.7 GHz	16 MB	インテル UHD グラフィックス 630
第 10 世代インテル Core i9-10900	65 W	10	20	2.8 GHz ~ 5.2 GHz	20 MB	インテル UHD グラフィックス 630
第 10 世代インテル Xeon W-1250	80 W	6	12	3.3 GHz ~ 4.7 GHz	12 MB	インテル UHD グラフィックス P630

表 3. プロセッサー (続き)

プロセッサー	ワット数	コア数	スレッド数	スピード	キャッシュ	内蔵グラフィックス
第 10 世代インテル Xeon W-1270	80 W	8	16	3.4 GHz ~ 4.9 GHz	16 MB	インテル UHD グラフィックス P630
第 10 世代インテル Xeon W-1290	80 W	10	20	3.2 GHz ~ 5.2 GHz	20 MB	インテル UHD グラフィックス P630

① **メモ:** 第 10 世代インテル Core i3-10100、i5-10500、i5-10600、および Xeon W-1250 プロセッサーは、出荷された 3200 MHz のメモリーを 2666 MHz でサポートします。

① **メモ:** 第 10 世代インテル Core i7-10700、i9-10900、W-1270、および W-1290 プロセッサーは、出荷された 3200 MHz のメモリーを 2933 MHz でサポートします。

チップセット

次の表では、Precision 3240 Compact でサポートされているチップセットの詳細をリスト表示しています。

表 4. チップセット

説明	値
チップセット	インテル W480 PCH
プロセッサー	第 10 世代インテル Core i3/i5/i7/i9 および Xeon W-Series プロセッサー
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	32 MB
PCIe バス	Gen 3.0 まで

オペレーティング システム

Precision 3240 Compact では、次のオペレーティング システムがサポートされます。

- Windows 11 Home、64 ビット
- Windows 11 Pro、64 ビット
- Windows 11 Pro National Academic、64 ビット
- Windows 11 Pro for Workstations、64 ビット
- Windows 10 Home、64 ビット
- Windows 10 Pro、64 ビット
- Windows 10 Pro National Academic、64 ビット
- Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC (OEM のみ)
- Windows 10 Pro for Workstation、64 ビット
- RHEL 8.4
- Ubuntu 18.04 LTS (64 ビット)
- Ubuntu 20.04 LTS、64 ビット

メモリー

次の表では、Precision 3240 Compact のメモリー仕様をリスト表示しています。

表 5. メモリーの仕様

説明	値
メモリー スロット	2 x SODIMM スロット
メモリーのタイプ	シングルチャネル DDR4
メモリー速度	3200 MHz <i>i</i> メモ: 第 10 世代インテル Core i3-10100、i5-10500、i5-10600、および Xeon W-1250 プロセッサは、出荷された 3200 MHz のメモリーを 2666 MHz でサポートします。 <i>i</i> メモ: 第 10 世代インテル Core i7-10700、i9-10900、W-1270、および W-1290 プロセッサは、出荷された 3200 MHz のメモリーを 2933 MHz でサポートします。
最大メモリー構成	64 GB
最低メモリー構成	8 GB
スロットごとのメモリー サイズ	8 GB、16 GB、32 GB
対応済みメモリー構成	<ul style="list-style-type: none"> ● 8 GB = 2 x 4 GB または 1 x 8 GB ● 16 GB = 2 x 8 GB または 1 x 16 GB ● 32 GB = 1 x 32 GB または 2 x 16 GB ● 64 GB = 2 x 32 GB <i>i</i> メモ: パフォーマンスを低下させないために、マルチ DIMM メモリー オプションを推奨します。システム構成に内蔵グラフィックスが含まれている場合は、2 枚以上の DIMM を選択することを検討してください。

ポートとコネクタ

次の表には、Precision 3240 Compact で利用できる外部および内部のポートがリスト表示されています。

表 6. ポートとコネクタ

説明	値
外部 :	
ネットワーク	RJ-45 ポート (1)
USB	<ul style="list-style-type: none"> ● 前面 : <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 x USB 3.2 Type A Gen 2 (10 Gbps)、PowerShare 対応 ○ 1 x USB 3.2 Type C Gen 2 (10 Gbps) ● 背面 : <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 x USB 3.2 Type A Gen 1 (5 Gbps) ○ 1 x USB 3.2 Type A Gen 1 (5 Gbps)、SmartPower 対応 ○ 2 x USB 3.2 Type A Gen 2 (10 Gbps)
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 x ライン出力/ライン入力オーディオ ポート ● 1 x 3.5 mm ヘッドセット ポート
ビデオ	2 x DisplayPort 1.4

表 6. ポートとコネクタ (続き)

説明	値
メディアカードリーダー	非対応
電源ポート	7.4 mm DC バレルタイプ
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ● Kensington セキュリティケーブル スロット x1 ● パドロック リング x1
内部 :	
PCIe 拡張カードスロット	ハーフハイト Gen 3 PCIe x8 スロット x1
M.2	<ul style="list-style-type: none"> ● WiFi/Bluetooth コンボ カード用 M.2 2230 スロット x1 ● PCIe ソリッドステート ドライブ用 M.2 2230/2280 スロット x2 <p>メモ: さまざまなタイプの M.2 カードの機能に関する詳細については、www.dell.com/support にてナレッジ ベース記事 000144170 を参照してください。</p>

Ethernet

次の表では、Precision 3240 Compact の有線 Ethernet ローカル エリア ネットワーク (LAN) の仕様をリスト表示しています。

表 7. Ethernet の仕様

説明	値
Model number (モデル番号)	インテル i219-LM
転送レート	10/100/1000 Mbps

ワイヤレス モジュール

次の表では、Precision 3240 Compact でサポートされているワイヤレス ローカル エリア ネットワーク (WLAN) モジュールをリスト表示しています。

表 8. ワイヤレス モジュールの仕様

説明	オプション 1	オプション 2
Model number (モデル番号)	Qualcomm QCA61x4A (DW1820) (Bluetooth 5.1)	インテル Wi-Fi 6、AX201、2x2、802.11ax (Bluetooth 5.1 対応)
転送レート	最大 867 Mbps	最大 2400 Mbps
サポートされている周波数帯域	2.4 GHz/5 GHz	2.4 GHz/5 GHz
ワイヤレス規格	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fi 802.11a/b/g ● Wi-Fi 4 (WiFi 802.11n) ● Wi-Fi 5 (WiFi 802.11ac) 	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fi 802.11a/b/g ● Wi-Fi 4 (WiFi 802.11n) ● Wi-Fi 5 (WiFi 802.11ac) ● Wi-Fi 6 (WiFi 802.11ax)
暗号化	<ul style="list-style-type: none"> ● 64 ビット/128 ビット WEP ● AES-CCMP ● TKIP 	<ul style="list-style-type: none"> ● 64 ビット/128 ビット WEP ● AES-CCMP ● TKIP

表 8. ワイヤレス モジュールの仕様 (続き)

説明	オプション 1	オプション 2
Bluetooth	Bluetooth 5.1	Bluetooth 5.1

オーディオ

次の表では、Precision 3240 Compact のオーディオの仕様をリスト表示しています。

表 9. オーディオの仕様

説明	値
オーディオタイプ	ハイ デフィニション (HD) オーディオ
オーディオコントローラー	Realtek ALC3246
内蔵オーディオ インターフェイス	HD オーディオ インターフェイス
外付けオーディオ インターフェイス	ユニバーサル オーディオ ジャックおよびライン出力ポート x1 (ライン入力に切り替え可能)

ストレージ

このセクションでは、Precision 3240 Compact のストレージ オプションをリスト表示しています。

お使いの PC では、以下のいずれかの構成がサポートされています。

- 2.5 インチ ハードディスク ドライブ (HDD) x1
- M.2 2230/2280 ソリッドステート ドライブ (SSD) x2

PC のプライマリ ドライブは、ストレージ構成により異なります。PC に

- M.2 SSD ドライブが搭載されている場合、SSD がプライマリー ドライブです
- M.2 SSD ドライブが搭載されていない場合、2.5 インチ HDD がプライマリー ドライブです。

表 10. ストレージの仕様

ストレージのタイプ	インターフェイスのタイプ	容量
2.5 インチ、5400 rpm、HDD	SATA 3.0 AHCI、最大 6 Gbps	最大 2 TB
2.5 インチ、7200 rpm、HDD	SATA 3.0 AHCI、最大 6 Gbps	最大 1 TB
2.5 インチ、7200 rpm、FIPS 自動暗号化 Opal 2.0、HDD	SATA 3.0 AHCI、最大 6 Gbps	最大 512 GB
M.2 2280 SSD	Gen 3 PCIe x4 NVMe、Class 40	最大 2 TB
M.2 2280 SSD	Gen 3 PCIe x4 NVMe、Class 50	最大 1 TB
M.2 2280 SSD、自動暗号化ドライブ	Gen 3 PCIe x4 NVMe、Class 40	最大 1 TB

電源アダプター

次の表では、Precision 3240 Compact の電源アダプターの仕様をリスト表示しています。

表 11. 電源アダプターの仕様

説明	オプション 1	オプション 2
タイプ	180 W	240 W(専用グラフィックス カード構成に必要)
コネクタの寸法		
外径	7.40 mm (0.29 インチ)	7.40 mm (0.29 インチ)
内径	5.10 mm (0.20 インチ)	5.10 mm (0.20 インチ)
入力電圧	AC100 V または AC240 V	AC100 V または AC240 V
入力周波数	50 Hz または 60 Hz	50 Hz または 60 Hz
入力電流 (最大)	2.34 A	3.5 A または 5 A
出力電流 (連続)	9.23 A	12.31 A
定格出力電圧	DC19.50 V	DC19.5 V
温度範囲 :		
動作時	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)
ストレージ	40 °C ~ -40 °C (104 °F ~ -40 °F)	40 °C ~ -40 °C (104 °F ~ -40 °F)
 注意: 動作時およびストレージの温度範囲はコンポーネント間で異なる場合があるため、デバイスをこれらの範囲外で作動または保存すると、特定のコンポーネントのパフォーマンスに影響する可能性があります。		

GPU : 内蔵

次の表では、Precision 3240 Compact でサポートされている、内蔵グラフィックス プロセッシング ユニット (GPU) の仕様をリスト表示しています。

表 12. GPU : 内蔵

コントローラー	外部ディスプレイ対応	メモリー サイズ	プロセッサー
インテル UHD グラフィックス 630	3 x DisplayPort 1.4	共有システム メモリー	第 10 世代インテル Core i3/i5/i7/i9 プロセッサー
インテル UHD グラフィックス P630	3 x DisplayPort 1.4	共有システム メモリー	第 10 世代インテル Xeon W-Series プロセッサー

GPU : 専用

次の表では、Precision 3240 Compact でサポートされている、専用グラフィックス プロセッシング ユニット (GPU) の仕様をリスト表示しています。

表 13. GPU : 専用

コントローラー	外部ディスプレイ対応	メモリー サイズ
NVIDIA Quadro P1000	4 x Mini DisplayPort 1.4	4 GB
NVIDIA Quadro P620	4 x Mini DisplayPort 1.4	2 GB

表 13. GPU : 専用 (続き)

コントローラー	外部ディスプレイ対応	メモリーサイズ
NVIDIA Quadro P400	3 x Mini DisplayPort 1.4	2 GB
NVIDIA Quadro RTX3000	4 x Mini DisplayPort 1.4	6 GB

アドイン カード

表 14. アドイン カード

アドイン カード
Dell Ultra Speed Drive
2.5/5.0 GbE NIC (Aquantia) アドイン カード
インテル イーサネット ・ サーバー ・ アダプター I210-T1
USB 3.2 Type-C PCIe カード
USB 3.2 Gen 1 PCIe カード
電源内蔵シリアル PCIe アドイン カード
Thunderbolt 3.0 : DP 1.4 ループバックを備えたデュアル ポート

規制

表 15. 法令遵守

機能	仕様
ENERGY STAR 8.0 認定	準拠
EPEAT Gold 取得	選択した構成と地域でのみ使用可能
中国 CECP	準拠
中国版 RoHS	準拠
TCO 8.0	選択した構成と地域でのみ使用可能
中国 CEL	準拠
WEEE	準拠
日本エネルギー法	準拠
韓国 E-standby	準拠
EU RoHS	準拠

データ セキュリティ

表 16. データ セキュリティ

データ セキュリティ オプション	値
Dell Data Protection—Endpoint Security Suite および Endpoint Security Suite Enterprise	対応
Dell Data Protection : ソフトウェア暗号化	対応
Dell Data Protection—外部メディア暗号化	非対応

表 16. データ セキュリティ (続き)

データ セキュリティ オプション	値
Windows Device Guard および Credential Guard (Enterprise SKU)	対応
Microsoft Windows BitLocker	対応
BIOS を使用したローカル ハード ドライブ データ 消去 (セキュア 消去)	対応
FIPS 自己暗号化 Opal 2.0 ハード ドライブ	対応
Dell Data Guardian	対応

動作環境とストレージ環境

この表では、Precision 3240 Compact の動作とストレージの仕様をリスト表示しています。

空気汚染物質レベル：G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 17. コンピュータ環境

説明	動作時	ストレージ
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 90% (結露なし)	0% ~ 95% (結露なし)
振動 (最大) *	0.66 GRMS	1.3 GRMS
衝撃 (最大)	110 G†	160 G†
高度範囲	-15.2 m ~ 3048 m (4.64 フィート ~ 5518.4 フィート)	-15.2 m ~ 10668 m (4.64 フィート ~ 19234.4 フィート)
<p>△ 注意: 動作時およびストレージの温度範囲はコンポーネント間で異なる場合があるため、デバイスをこれらの範囲外で作動または保存すると、特定のコンポーネントのパフォーマンスに影響する可能性があります。</p>		

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハード ドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セットアップユーティリティ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピューターが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハードドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハードドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

BIOS の概要

BIOS はコンピューターのオペレーティングシステムとハードディスク、ビデオアダプタ、キーボード、マウス、プリンタなどの取り付けられているデバイス間のデータフローを管理します。

BIOS セットアッププログラムの起動

このタスクについて

コンピューターの電源を入れて（または再起動して）、すぐに F2 を押します。

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワнтаイム ブート メニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- UEFI Boot :
 - ウィンドウズブートマネージャー
- 別のオプション :
 - BIOS セットアップ
 - BIOS Flash Update
 - 診断
 - Change Boot Mode Settings (起動モードの設定の変更)

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。

キー	ナビゲーション
入力	選択したフィールドの値を選択するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス（例：光学ドライブまたはハードドライブ）から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト（POST）中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- F2 キーを押してセットアップユーティリティにアクセスする
- F12 キーを押して1回限りの起動メニューを立ち上げる

ワンタイムブートメニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ（利用可能な場合）
 - ① **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ（利用可能な場合）
- SATA ハードドライブ（利用可能な場合）
- 診断
 - ① **メモ:** [診断] を選択すると [診断] 画面が表示されます。

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

① **メモ:** お使いのおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 18. 一般規定

オプション	説明
システム情報	以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • システム情報：BIOS バージョン、サービス タグ、Asset Tag、購入者タグ、製造日、購入日、エクスプレス サービス コードが表示されます。 • メモリー情報：搭載メモリー、使用可能メモリー、メモリー速度、メモリーチャンネルモード、メモリーテクノロジー、DIMM 1 サイズ、DIMM 2 サイズが表示されます。 • PCI 情報：Slot1_M.2、Slot2_M.2、Slot3_M.2 が表示されます。 • プロセッサ情報：プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロックスピード、最小クロックスピード、最大クロックスピード、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビットテクノロジーを表示します。 • デバイス情報：SATA-0、M.2 PCIe SSD-2、LOM MAC アドレス、ビデオコントローラー、オーディオコントローラー、Wi-Fi デバイス、Bluetooth デバイスが表示されます。
ブート シーケンス	このリスト内の指定されたデバイスから PC がオペレーティングシステムを探す順序です。
UEFI 起動パス セキュリティ	このオプションは、F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動する場合に、システムがユーザーに管理者パスワードを入力するように求めるかどうかを制御します。

表 18. 一般規定 (続き)

オプション	説明
日付/時刻	日付と時刻を設定できます。システムの日付と時刻の変更はすぐに有効になります。

システム情報

表 19. システム設定

オプション	説明
内蔵 NIC	<p>オンボード LAN コントローラーを制御できるようにします。Enable UEFI Network Stack (UEFI ネットワークスタックを有効にする) オプションは、デフォルトでは選択されていません。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無効 ● 有効 ● Enabled w/PXE (PXE で有効)(デフォルト) <p>メモ: PC および取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示されている項目の一部がない場合があります。</p>
SATA の動作	<p>統合ハード ドライブ コントローラーの動作モードを設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) = SATA コントローラは非表示 ● AHCI = SATA は AHCI モード用に構成済み ● RAID ON = SATA は RAID モードをサポートするように構成されます (デフォルトで選択)
ドライブ	<p>各種オンボード ドライブを有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SATA-0 (デフォルトで有効) ● M.2 PCIe SSD 0 (デフォルトで有効)
スマートレポート	<p>このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブ エラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。[Enable Smart Reporting (スマートレポートを有効にする)] オプションはデフォルトでは無効になっています。</p>
USB 設定	<p>以下のオプションについて、内蔵 USB コントローラを有効または無効に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) ● Enable Front USB Ports (前面 USB ポートを有効にする) ● Enable Rear USB Ports (背面 USB ポートを有効にする) <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
前面 USB の設定	<p>前面 USB ポートを有効または無効にすることができます。すべてのポートはデフォルトで有効に設定されています。</p>
背面 USB の設定	<p>背面 USB ポートを有効または無効に設定できます。すべてのポートはデフォルトで有効に設定されています。</p>
USB PowerShare	<p>このオプションで、携帯電話や音楽プレーヤなどの外付けデバイスを充電することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
オーディオ	<p>組み込み型オーディオ コントローラーを有効または無効にすることができます。[Enable Audio (オーディオを有効にする)] オプションはデフォルトで選択されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Microphone (マイクロフォンを有効にする) ● Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) <p>両方のオプションがデフォルトで選択されています。</p>
ダスト フィルターのメンテナンス	<p>PC に取り付けられているダスト フィルター (オプション) のメンテナンスに関する BIOS メッセージを有効または無効にできます。BIOS によって、設定された間隔に基づいてダスト フィルターをクリーニングまたは交換するための起動前の確認事項が生成されます。[Disabled] オプションがデフォルトで選択されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無効 ● 15 日間

表 19. システム設定 (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● 30 日間 ● 60 日間 ● 90 日間 ● 120 日間 ● 150 日間 ● 180 日間

ビデオ画面のオプション

表 20. ビデオ

オプション	説明
マルチディスプレイ	このオプションはデフォルトで選択されています。
プライマリー ディスプレイ	<p>複数のコントローラがシステムで利用可能なときに、プライマリディスプレイを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Auto (デフォルト) ● Intel HD グラフィックス <p>i メモ: Auto (自動) を選択しない場合は、オンボードグラフィックスデバイスが存在し、有効に設定されます。</p>

セキュリティ

表 21. セキュリティ

オプション	説明
管理者パスワード	管理者パスワードを設定、変更、および削除することができます。
システムパスワード	システムパスワードを設定、変更、および削除することができます。
パスワードの設定	管理者パスワードとシステムパスワードの最小および最大の許容文字数を制御できます。文字の範囲は 4 ~ 32 の間です。
パスワードのスキップ	<p>このオプションを選択すると、システムの再起動時、System (Boot) Password と内蔵ハードドライブパスワード入力のプロンプトをスキップすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) — パスワードが設定されると、システムおよび内蔵 HDD パスワード入力のダイアログがプロンプトされます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。 ● Reboot Bypass (再起動時にスキップ) — 再起動時、パスワード入力のダイアログをスキップします (ウォームブート) 。 <p>i メモ: オフの状態から電源を入れると (コールドブート)、システムはシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力を常にプロンプトします。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が常にプロンプトされます。</p>
パスワードの変更	<p>管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。</p> <p>Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
UEFI カプセルファームウェアアップデート	このオプションで、システムが UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションは、デフォルトで選択されていますこのオプションを無効にすると、Microsoft Windows Update や Linux Vendor Firmware Service (LVFS) のようなサービスからの BIOS のアップデートをブロックします。
TPM 2.0 セキュリティ	TPM (Trusted Platform Module) をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。

表 21. セキュリティ (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● TPM On (デフォルト) ● Clear (クリア) ● 有効なコマンドの PPI をスキップ ● 無効なコマンドの PPI をスキップ ● クリア コマンドの PPI のスキップ ● 有効な証明書 (デフォルト) ● 有効なキーストレージ (デフォルト) ● SHA-256 (デフォルト) <p>いずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無効 ● Enabled (有効) (デフォルト)
Absolute	<p>このフィールドでは、オプションの Absolute Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、有効、無効、恒久的に無効のいずれかに設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enabled - このオプションはデフォルトで選択されています。 ● 無効 ● 恒久的に無効
シャシーの侵入	<p>このフィールドでは、シャシーイントルージョン機能を制御します。</p> <p>いずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) (デフォルト) ● 有効 ● On-Silent (オンサイレント)
OROM キーボード アクセス	<p>このオプションで、起動時にホットキーを使用して、オプション ROM 構成の画面を表示させるかどうかを決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enabled - このオプションはデフォルトで選択されています。 ● 無効 ● One Time Enable (1 回のみ有効)
管理者設定のロック	<p>管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップの起動を防止することができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
マスターパスワードのロック	<p>マスターパスワードのサポートを無効にすることができます。設定を変更する前に、ハードディスクパスワードを消去する必要があります。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
SMM セキュリティの緩和	<p>UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>

セキュアブート オプション

表 22. セキュアブート

オプション	説明
セキュアブートを有効にする	<p>セキュアブート機能を有効または無効にできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セキュアブートの有効化 <p>このオプションは、デフォルトでは選択されていません。</p>
セキュアブート モード	<p>UEFI ドライバー署名の評価または強制が可能になるようにセキュアブートの動作を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Deployed Mode (デフォルト) ● Audit Mode

表 22. セキュアブート (続き)

オプション	説明
Expert key Management	<p>システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 Enable Custom Mode オプションはデフォルトでは無効になっています。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PK (デフォルト) ● KEK ● db ● dbx <p>Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、 PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファイルに保存 : ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 ● ファイルから交換 : 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 ● ファイルから追加 : ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 ● 削除 : 選択したキーを削除します。 ● すべてのキーをリセット : デフォルト設定にリセットします。 ● すべてのキーを削除 : すべてのキーを削除します。 <p>① メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。</p>

Intel Software Guard Extensions のオプション

表 23. Intel Software Guard Extensions

オプション	説明
[Intel SGX Enable]	<p>このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。</p> <p>次のいずれかのオプションをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [無効] ● [有効] ● [Software controlled] - デフォルト
[Enclave Memory Size]	<p>このオプションでは、[SGX Enclave Reserve のメモリ サイズ] を設定します。</p> <p>次のいずれかのオプションをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [32 MB] ● [64 MB] ● [128 MB] - デフォルト

パフォーマンス

表 24. パフォーマンス

オプション	説明
[マルチコアサポート]	<p>このフィールドでは、プロセッサで1個のコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [All] — デフォルト ● [1] ● [2]

表 24. パフォーマンス (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • [3]
[インテル SpeedStep]	<p>プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [インテル SpeedStep を有効にする] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
[C ステータス コントロール]	<p>プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [C States] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
[Cache Prefetcher]	<ul style="list-style-type: none"> • ハードウェアプリフェッチャー (デフォルト) • 隣接キャッシュプリフェッチ (デフォルト) <p>ハードウェアプリフェッチャーが有効になっている場合、プロセッサのハードウェアプリフェッチャーによって、プロセッサのデータとコードが自動的にプリフェッチされます。</p> <p>隣接キャッシュを有効にした場合、プロセスを実行すると、現在要求されているキャッシュラインに加えてその後のキャッシュラインも取得できます。</p>
[インテル ターボ・ブースト]	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする)] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
[ハイパースレッド コントロール]	<p>ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効] • [Enabled] — デフォルト

電源管理

表 25. 電源管理

オプション	説明
AC リカバリー	<p>電力損失の後、AC 電源を回復した場合のシステムの対応を決定します。AC リカバリーは次のいずれかに設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源オフ • 電源を入れる • Last Power State (直前の電源状態) <p>このオプションはデフォルトで Power Off (電源オフ) に設定されています。</p>
インテル Speed Shift テクノロジーを有効にする	<p>インテル Speed Shift Technology のサポートを有効または無効にします。[Enable Intel Speed Shift Technology] オプションがデフォルトで設定されています。</p>
自動電源オン時刻	<p>コンピュータに自動的に電源を入れる時刻を設定します。時刻は標準の 12 時間形式 (時間 : 分 : 秒) です。時刻と AM/PM のフィールドに値を入力して、起動時刻を変更します。</p> <p>① メモ: この機能は、電源タップのスイッチやサージプロテクターでコンピュータの電源をオフにした場合、または Auto Power (自動電源) が無効に設定されている場合は動作しません。</p>
ディープスリープコントロール	<p>ディープスリープを有効にするタイミングの制御を定義することができます。</p>

表 25. 電源管理 (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● 無効 ● Enabled in S5 only (S5 のみで有効) ● Enabled in S4 and S5 (S4 と S5 で有効) <p>このオプションは、S4 と S5 ではデフォルトで有効になっています。</p>
USB ウェイク サポート	<p>USB デバイスでコンピュータをスタンバイ モードからウェイクさせることができます。 USB ウェイク サポートを有効にする オプションは、デフォルトで選択されています。</p>
Wake on LAN/WWAN	<p>このオプションでは、特殊な LAN 信号でトリガーすることで、PC の電源をオフ状態から投入することができます。この機能は、PC が AC 電源に接続されている場合のみ正常に動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) — LAN またはワイヤレス LAN からウェイクアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。 ● LAN or WLAN (LAN または WLAN) — 特殊な LAN 信号または無線 LAN 信号によりシステムの電源がオンになります。 ● LAN Only (LAN のみ) - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。 ● LAN with PXE Boot (PXE 起動を伴う LAN) — S4 または S5 状態のシステムに送られるウェイクアップパケットは、システムが起動してすぐに PXE を起動するようになります。 ● WLAN Only (WLAN のみ) - 特殊な WLAN 信号によるシステムの起動を許可します。 <p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
ブロック スリープ	<p>OS の環境でスリープ (S3 ステート) に入るのをブロックすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>

POST 動作

表 26. POST 動作

オプション	説明
アダプターの警告	<p>このオプションにより、特定の電源アダプターを使用するときに、システムが警告メッセージを表示するかどうかを選択できます。このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
Numlock LED	<p>コンピュータの起動時に、Numlock 機能を有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
キーボード エラー	<p>コンピュータの起動時に、キーボードエラーのレポートを有効または無効に設定することができます。 キーボード エラーの検出の有効化 オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
高速ブート	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスをスピードアップするオプションです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Minimal (最小) — BIOS が更新されたり、メモリが変更されたり、または以前の POST が完了していない限り、システムは高速で起動します。 ● Thorough (完全) — システムは、起動プロセスの手順をスキップしません。 ● Auto (自動) — オペレーティングシステムでこの設定をコントロールできるようになります (オペレーティングシステムが Simple Boot Flag (シンプル起動フラグ) をサポートしている場合のみ、有効です)。 <p>このオプションは、デフォルトで Thorough (完全) に設定されています。</p>
BIOS POST 時間の延長	<p>このオプションで、起動前の遅延時間を追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 0 seconds (デフォルト) ● 5 秒 ● 10 秒
フルスクリーン ログ	<p>このオプションでは、お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーン ログを表示するかどうかを指定します。 [Enable Full Screen Logo] オプションはデフォルトでは設定されていません。</p>

表 26. POST 動作 (続き)

オプション	説明
警告とエラー	<p>このオプションは、警告またはエラーが検出された場合に起動プロセスを一時停止するかどうかを設定します。いずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 警告およびエラー時のプロンプト：デフォルト ● 継続する警告 ● 継続する警告とエラー

管理機能

表 27. 管理機能

オプション	説明
インテル AMT 機能	<p>システムの起動時に、AMT 機能と MEB ホットキー機能が有効になるようにプロビジョニングできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無効 ● 有効 ● MEBx アクセスの制限：デフォルト
USB プロビジョン	<p>有効に設定すると、USB ストレージ デバイスのローカル プロビジョニング ファイルを使用して、インテル AMT のプロビジョニングをすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable USB Provision - デフォルトで無効
MEBx ホットキー	<p>システムの起動時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MEBx ホットキーの有効化：デフォルトで無効

仮想化サポート

表 28. 仮想化サポート

オプション	説明
仮想化	<p>このオプションでは、インテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Enable Intel Virtualization Technology] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
Direct I/O 用 VT	<p>ダイレクト I/O 向けインテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Enable VT for Direct I/O] <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
信頼できる実行	<p>このオプションでは、Intel Trusted Execution テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 信頼できる実行 <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>


ワイヤレスオプション

表 29. ワイヤレス

オプション	説明
Wireless Device Enable	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">• [WLAN/WiGig]• [Bluetooth] すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

メンテナンス

表 30. メンテナンス

オプション	説明
サービス タグ	Pc のサービス タグを表示します。
Asset Tag	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
SERR メッセージ	SERR Message メカニズムを制御します。このオプションは、デフォルトで設定されています。 SERR Message メカニズムが無効になっていることが必要なグラフィックスカードもあります。
BIOS ダウングレード	システム ファームウェアの以前のバージョンをフラッシュすることができます。 <ul style="list-style-type: none">• [Allow BIOS Downgrade (BIOS のダウングレードを許可する)] このオプションは、デフォルトで設定されています。
データ ワイブ	すべての内蔵ストレージ デバイスからデータを安全に消去できます。 <ul style="list-style-type: none">• [次の起動を削除する] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
BIOS リカバリー	[ハード ドライブからの BIOS リカバリー] - このオプションはデフォルトで設定されています。 HDD または外部 USB キーのリカバリ ファイルから、破損した BIOS をリカバリできます。  メモ: [ハード ドライブからの BIOS リカバリー] フィールドを有効にする必要があります。 [Always Perform Integrity Check] - 毎回起動時に整合性チェックを実行します。
最初の電源投入日	所有権の日付を設定できます。[Set Ownership Date] オプションは、デフォルトでは設定されていません。

システムログ

表 31. システムログ

オプション	説明
BIOS events	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。

高度な設定

表 32. 高度な設定

オプション	説明
ASPM	ASPM レベルを設定できます。 <ul style="list-style-type: none">● Auto (デフォルト): デバイスによってサポートされている最良の ASPM モードを判定するために、デバイスと PCI Express ハブ間でハンドシェイクが行われます。● Disabled : ASPM 電源管理は常時オフになります。● L1 Only : ASPM 電源管理は L1 を使用するように設定されます。
PCIe LinkSpeed	システム内のデバイスによって、達成可能な最大 PCIe リンク速度を選択できます。 <ul style="list-style-type: none">● Auto (デフォルト)● Gen1● Gen2

SupportAssist システムの解決策

表 33. SupportAssist システムの解決策


オプション	説明
自動 OS リカバリーのしきい値	SupportAssist システムの自動ブートフローを制御することができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">● 消灯● 1● 2 (デフォルトで有効)● 3
SupportAssist OS リカバリー	SupportAssist OS リカバリーを復元できます(デフォルトでは有効)。
BIOSConnect	ローカルの OS リカバリーが存在しない場合、BIOSConnect によりクラウド サービス OS を有効または無効にできます (デフォルトでは有効)。

システムパスワードおよびセットアップパスワード


表 34. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

 **注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

前提条件

ステータスが [未設定] の場合のみ、新しい [システム パスワードまたは管理者パスワード] を割り当てることができます。

このタスクについて

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

手順

1. [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[セキュリティ] 画面が表示されます。
2. [システム/管理者パスワード] を選択し、[新しいパスワードを入力] フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() (+) (,) (-) (.) (/) (;) ([] (\) (]) (`) 。
3. [新しいパスワードの確認] フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
4. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. **Y** を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更


前提条件

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、**パスワード ステータス**が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。**パスワード ステータス**がロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

このタスクについて


システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

手順

1. [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[システム セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[システムセキュリティ] 画面が表示されます。
2. [システムセキュリティ] 画面で [パスワードステータス] が [ロック解除] に設定されていることを確認します。
3. [システム パスワード] を選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
4. [セットアップ パスワード] を選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
 **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. **Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

BIOS (システム セットアップ) およびシステムパスワードのクリア

このタスクについて

 **メモ:** BIOS パスワードおよびシステム パスワードのリセットを実施するには、お客様の地域の Dell テクニカル サポート番号にお問い合わせください。

手順


1. ロックされた BIOS/システム セットアップ画面に PC のサービス タグ番号を入力します。
2. 生成されたコードを、Dell テクニカル サポート エージェントに伝えます。
3. Dell テクニカル サポート エージェントは、ロックされた BIOS/システム セットアップにアクセスするために使用できる 32 文字のマスター システム パスワードを提供します。

ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

Windows ドライバのダウンロード

手順



1. の電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. [製品サポート] をクリックし、のサービス タグを入力して、[送信] をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いののモデルを手動で参照してください。
4. [Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)] をクリックします。
5. お使いのにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
7. [ファイルのダウンロード] をクリックして、お使いの用のドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」

セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソースを使ってデル製品とサービスに関するヘルプ情報を取得できます。

表 35. セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソース	リソースの場所
デル製品とサービスに関する情報	https://www.dell.com/
Dell サポート	
ヒント	
お問い合わせ	Windows サーチに Contact Support と入力し、Enter を押します。
オペレーティング システムのオンライン ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> Windows : https://www.dell.com/support/windows Linux: https://www.dell.com/support/linux
トラブルシューティング情報、ユーザーズ ガイド、セットアップ方法、製品仕様、テクニカル サポート ブログ、ドライバー、ソフトウェアのアップデートなど。	https://www.dell.com/support/home/
システムのさまざまな問題に関するデルのサポート技術情報の記事。	<ol style="list-style-type: none"> https://www.dell.com/support/home/?app=knowledgebase にアクセスします。 [Search] ボックスに、件名またはキーワードを入力します。 [Search] をクリックして、関連記事を取得します。
<p>お使いの製品について、次の情報を把握します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品仕様 オペレーティング システム 製品のセットアップと使用 データ バックアップ トラブルシューティングと診断 工場出荷時の状態とシステムの復元 BIOS 情報 	<p>デルでは、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Detect Product (製品を検出)] を選択します。 [View Products (製品の表示)] のドロップダウンメニューで製品を見つけます。 検索バーに、[サービス タグ ナンバー] または [製品 ID] を入力します。 製品サポート ページが表示されたら、マニュアルおよびドキュメント セクションまでスクロール ダウンして、お使いの製品のマニュアル、ドキュメント、その他の情報をすべてプレビューします。

デルへのお問い合わせ

デルでは、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。これらのサービスは国/地域および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。デルのセールス、テクニカル サポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. <https://www.dell.com/support/>にアクセスします。
 2. お住まいの国/地域を、ページ右下隅のドロップダウン メニューから選択します。
 3. **カスタマイズされたサポート**を利用するには、次の手順に従います。
 - a. [サービス タグの入力] フィールドに、お使いのシステムのサービス タグを入力します。
 - b. [送信] をクリックします。
 - さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
 4. **一般的なサポート**を利用するには、次の手順に従います。
 - a. 製品カテゴリを選択します。
 - b. 製品セグメントを選択します。
 - c. お使いの製品を選択します。
 - さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
 5. デル グローバル テクニカル サポートへのお問い合わせ先は、<https://www.dell.com/contactdell> を参照してください。
メモ: Contact Technical Support (テクニカル サポートに連絡) ページには、Dell グローバル テクニカル サポート チームへの電話、チャット、または E メール送信のための詳細が記載されています。
- メモ:** これらのサービスは国/地域および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。